

令和元年度の主な事業

テーマ1 若い世代を増やす

少子化と人口減少の進行を抑制するために、若い世代や子育て世代が住んでみたい、住み続けてみたいと思えるまちづくりに取り組みました。

子育て世帯などの定住促進

親元同居・近居支援事業 [2,570万円]

市内に居住する親世帯と同居、または近居するために市外から転入する子世帯に対し、住宅取得費用の一部を補助しました。この制度を利用し、183名の方が転入しました。



仕事と子育ての両立支援

母子保健型利用者支援事業 [1,407万2千円]

妊娠期から子育て期にわたる育児に関するさまざまな相談に、保健師などが面談や電話で対応し、子育てを支援しました。

民間保育所等施設整備補助事業 [1億4,662万4千円]

待機児童の解消を図るため、新たに認可保育所を整備する1事業者と、地域型保育事業所を整備する1事業者に対し、補助金を交付しました。



令和2年4月に開園した「祇園風の光保育園」

基礎学力の向上、教育環境の充実

学力向上推進事業 [1,571万8千円]

小学校4年生を対象に算数の集中講座を外部講師が行う、小学生学習支援事業を新たに実施しました。283回開催し、延べ3,796名の生徒が参加しました。事前事後アンケートでは、「算数の学習内容が身に付いている・だいたい身に付いている」と回答した児童の割合が50%増加しました。



小学校校舎等改修事業 [3億678万4千円]

広瀬小学校など5校の児童用トイレと、富士見小学校など7校の職員トイレを洋式・乾式化する改修工事を実施しました。

テーマ3 楽しめる健康高齢社会を

高齢になっても楽しみながら活躍できる、健康第一の地域づくりや、安全安心のまちづくりに取り組みました。

健康意識のさらなる高揚

健康づくり推進事業 [1,503万5千円]

健康増進や介護予防を目的とした健康遊具を、柏原六区公園に6基設置しました。

スポーツの推進

スポーツ施設整備推進事業 [3,031万6千円]

武道館の整備に向け、基本設計などを実施しました。



令和4年度供用開始予定の狭山市立武道館
(外観イメージ)

公共交通の充実

地域公共交通対策事業 [282万7千円]

市内循環バス「茶の花号」の運行ルート見直し後の利用動向や効果などの検証と、効果的な利用促進策を実施しました。また、新たな地域コミュニティ交通について調査・検討を行いました。



防災体制の充実

防災設備整備事業 [1億6,140万9千円]

防災行政無線のデジタル化のため、屋外拡声子局29局を更新しました。また、防災備蓄倉庫4棟を避難所に設置すると共に、老朽化した避難所看板など9か所の更新を行い、防災施設の機能の充実と強化を図りました。

テーマ2 まちと産業に活力を

安全で利便性の高い、快適な都市空間の整備や地域産業の支援などを通じて活気のあるまちづくりに取り組みました。

企業支援と企業誘致の推進

産業労働センター管理事業 [9,448万8千円]

狭山市ビジネスサポートセンター業務を開始し、中小企業・小規模事業者などの支援を行いました。

狭山工業団地拡張地区基盤整備事業 [2万6千円]

平成27年度からの継続事業です。狭山工業団地に隣接する2地区で、土地区画整理組合と民間事業者が実施する産業基盤整備が円滑に進むよう支援しました。また、進出企業が決定し、新たに物流倉庫や食品加工施設、自動車関連機器製造施設が立地する予定です。



都市基盤の整備

入曽駅周辺整備事業 [8,150万1千円]

入曽駅東口土地区画整理事業が認可され、東西自由通路と橋上駅舎の基本設計などを実施しました。

狭山市駅加佐志線整備事業 [1億3,958万1千円]

狭山市駅東口土地区画整理事業区域境から東京狭山線までの区間の用地取得を実施しました。

笹井柏原線整備事業 [7,207万6千円]

工業団地日高線から東京狭山線間の一部区間と、国道407号から上広瀬土地区画整理事業区域境までの区間の用地取得と道路改良工事を実施しました。



テーマ4 市政運営をみんなの力で

市民や事業者と行政が連携し、協働によるまちづくり条例の制定や次の世代につながる元気なまちづくりに取り組みました。

市民の活力を生かしたまちづくりの推進

入曽地区地域交流施設(仮称)整備事業 [8億6,414万8千円]

令和2年4月にオープンした、入曽地域交流センターの整備工事を実施しました。



協働推進事業 [219万9千円]

市民参画と協働によるまちづくりの推進を図るため、提案型協働事業7件を実施しました。また、協働によるまちづくり条例の取り組みとして、地域ポータルサイト「さやマルシェ」内に「みんなであつなろう@さやま」のページと、小冊子を作成しました。

市のイメージアップとシビックプライドの醸成

シティプロモーション推進事業 [2,730万1千円]

市の魅力や特色がより伝わり、情報が探しやすく、スマートフォンでも使いやすいホームページにリニューアルしました。また、市外の方へ狭山市をPRするため、市オリジナルデザインの「狭山市ふるさと年賀はがき」を作成しました。

東京オリンピック・パラリンピック推進事業 [1,247万8千円]

大会に向けた機運の醸成に取り組むとともに、小・中学校でのオリンピック・パラリンピック教育などを実施しました。



令和2年2月に開催した「あすチャレ! スクール」